

山形市清掃問題審議会 (令和6年度第1回)

議 事 録

日 時 令和6年7月22日(月)

午後2時から3時30分まで

場 所 山形市役所7階 701AB会議室

会 議 録

1 会議名 令和6年度第1回山形市清掃問題審議会

2 開催日時 令和6年7月22日（月）午後2時から3時30分まで

3 開催場所 山形市役所7階 701AB会議室

4 次 第

（1）開 会

（2）会長挨拶

（3）審議会委員・幹事の紹介

（4）副会長の選出について

（5）議事録署名人の選出

（6）報告等

- ・山形市一般廃棄物処理基本計画の目標値にかかる令和5年度実績について
- ・共通収集シールの販売単位変更について
- ・その他

（7）その他

（8）閉 会

5 出席者

【委員】國方委員（会長）、山川委員、鈴木（淳）委員（副会長）、長瀬委員、福島委員、高橋委員、伊藤健氏（大久保委員代理）、國井委員、三部委員、吉田委員、大場委員

【幹事】環境部長、廃棄物指導課長、ごみ減量推進課長

【書記】ごみ減量推進課課長補佐、ごみ減量推進課循環型社会計画係長、減量推進係長、分別収集係長、循環型社会計画係員

【生活排水処理基本計画関係】

廃棄物指導課課長補佐、廃棄物指導課一般廃棄物係長、廃棄物指導課施設係長

6 傍聴者数

一般傍聴者数 0名 記者数 0名

7 資 料

（P1～5）山形市一般廃棄物処理基本計画の目標値にかかる令和5年度実績について

（P6）共通収集シールの販売単位変更について

（P7）その他

8 内 容 （1）～（6）

- ・開会
- ・会長挨拶

非常に暑い中、ご出席いただき感謝申し上げます。

山形市のごみについては市民の皆様から非常にご協力いただいて、一時期コロナ禍もあったが、また少しずつ、もとのような形で順調に推移していくかと思われる。

市民の皆様にご協力いただいた中で、先日の山形市制施行 135 周年記念式典においてこれまでこの審議会の副会長を務めていただいた金澤さんが表彰された。審議会としても非常にうれしい表彰だったと思っている。

金澤さんの実績をこれからも踏まえて、この審議会としては、これからもリサイクルを含め順調に推移していくよう、皆様方のお知恵を拝借したい。どうぞよろしくお願いする。

- ・審議会委員と出席幹事の自己紹介後、國方会長が会議の議長として議事の進行を務める。
- ・副会長の選任
審議会の副会長として鈴木淳子委員が選任され、挨拶を頂いた。
- ・鈴木副会長挨拶
よい未来に少しでもお役に立つように頑張らせていただく。
- ・議事録署名人について、会長及び会長より指名された國井委員が選出された。
- ・議長は会長が行った。

(6) 報告等について、ごみ減量推進課長が資料に基づき説明を行った。

以下、質疑応答及び議事経過

- ・山形市一般廃棄物処理基本計画の目標値にかかる令和 5 年度実績について

発言者	発 言 要 旨
事務局	資料に基づき説明。
鈴木（淳）委員	市民 1 日 1 人当たりの家庭系ごみの排出量について、全国的には山形市はどの程度の順位にあるのか。数値だけではこれが多いのか少ないのか不明。
事務局	全国の数字は持ち合わせないため、東北と山形県内の順位で説明する。 東北地方の県庁所在地と中核市、9 都市の中で、山形市は多い方から 5 番目という状況である。また、県内 35 自治体の中では多い方から 16 番目である。
議長	県内は、比較するのが難しい対象だと思う。 人口規模によって生活スタイルも違い、その排出の仕方も変わってしまうため、比較するとなると非常に難しいと思うが、まだまだ頑張らなければならないというところは実際ある。東北の県庁所在地等なら比較基準としては良いと思う。その中では決して上位にはないため、今後とも減らしていく努力は必要だと思う。
三部委員	生活排水処理施設への接続促進の令和 6 年度の取り組みについて、下水道区域及び農集排区域内で未接続者の接続促進に努めます、とある。接続にあたっては何らかの工事等が必要になると思うが、その費用は誰の負担になっているのか。

事務局	負担者については、接続者の方である。なお、下水道接続工事及び合併処理浄化槽設置工事については、一定の条件のもと補助制度を設けている。 接続率 95.1%については、下水道接続はおおむね実施されており、下水道への未接続の方は、借家などが 4.9%ほど残っているという認識である。経済的に厳しいところと、借家の問題もあり、借りている方が退去した段階や、建替えるという段階でなければ、進まないような部分だと考えている。
伊藤(大久保委員代理)	鈴木副会長からの質問の追加で山形県での状況から説明させていただくと、山形市は基本的には山形県の平均とほぼ同値で、真ん中ぐらいに位置している。 人口規模からして、中位にいるというのは非常に頑張っている証拠なので、今後も継続していただければと考えている。 なお全国的には 500 グラムを若干切っているため、山形県的にはもう少し頑張る必要があるとは感じているが、会長の話と同様、生活様式が違うので、なかなかごみを一律に評価するのは難しい。 ちなみに山形市のリサイクル率に関しては、県内でも 5 本の指に入るほど上位にいる。リサイクルを頑張ってやっていただいているというのが県の見方である。 資料の 3 ページの個別方針のリサイクル指標の向上について、今後の取り組みについての確認だが、大規模事業所の再資源化に積極的に取り組んでいる事例について、山形県内でも他の市町村にもお知らせできるような再資源化の事例について、もしご存じであれば紹介していただきたい。
事務局	減量計画書等を拝見して、紙類や段ボール等を再資源化に回しているところは比較的多いが、今回厨芥類について、飲食店やホテル関係をチェックしたところ、資源化しているというホテルがあったので、そうした取り組み等について紹介していければと考えている。
議長	リサイクルについて言えばコロナ禍前より集団回収が少々弱くなっているという気はしている。 コロナ禍の前は結構集団回収が来ていたがそれが最近少しなくなってきたところがあり、また復活すれば良いと思っている。
大場委員	家庭系のごみの総排出量の方も相当に少なくなっている。 コロナ禍前よりも一層少ないような感じで、消費者物価指数の上昇等の要因も挙げられたが、それ以上の原因があるように見えるが、何かあるだろうか。
事務局	総排出量は資料の 1 ページ目の赤い方のグラフになるが、これについては、人口減少も関わっていると思う。
大場委員	人口が相当減っているということか。
事務局	緩やかな減少が続いている状況と考えている。

・共通収集シールの販売単位変更について

発言者	発 言 要 旨
-----	---------

事務局	資料に基づき説明。
議長	非常に結構なこと。それほど頻繁に使わないようなものは、まとめて買っておくと紛失することもあるため、1枚ずつというのは非常に良い方法と思う。

・その他

発言者	発 言 要 旨
事務局	資料に基づき説明。
議長	ただいまの報告について、また、今までの説明も踏まえ、まだご発言のない方もいるので気が付いた点等も含めて、一言ずつお願いしたい。
伊藤(大久保委員代理)	山形市のごみの処理状況を見ると、ごみ排出量、人口の割には非常に頑張っている。さらに、リサイクル率に関しては山形県内でも上位に位置している。リサイクルについていろいろと検討されて、本審議会委員の方々からも意見をいただいて、非常にありがたく思っている。 今後とも、3Rの推進について、ご協力をいただければと思っている。
國井委員	ごみ分別アプリ「さんあ〜る®」を運用しているということだが、こういう便利なものがあるなら、この登録件数1万2436件では些か少ないと思うので、促進に力を入れてやっていただきたい。
三部委員	私も「さんあ〜る®」は存じ上げなかったので、すぐに使いたいと思う。 分別については、今まで私は紙で確認していたが、データで見られるということがごみの減量に繋がると思うので、そこは力を入れて普及していただくと良い。 共通収集シールの販売単位変更もとても良いことだと思う。
吉田委員	山形市では本当によく情報提供をしてくれており、市民の皆さんも、上手にごみを出してくれているようで、山形市内の景観もとても良くなったのではないかな。
大場委員	最近県内では食品廃棄物の方のリサイクルの取り組み、発電等、そのような部分も相当見受けられる。 山形市でも、食品廃棄物のリサイクルの方法等を今後PRを行っていただきたい。 食品廃棄物のリサイクルについて先日視察に行ってきた。鶴岡市の藤島地区に東北イートップという会社があり、食品廃棄物を堆肥化するのだが、非常に臭いの少ない堆肥で、地域でうまく循環するような仕組みをスーパー等と作っているという非常に良い取り組みを見てきた。 今は食品廃棄物を無理に燃やしていると思うが、水分の多いものを燃やすとエネルギーも相当使うので、食品廃棄物に関してのリサイクルの件もお考えいただけたらいいかな。
高橋委員	私も山形市の公式LINEを登録していてLINEのごみの出し方を活用しているが、大変便利である。 だが昨年10月から導入されたアプリ「さんあ〜る®」は、まずインストールすると

	ころから手間がかかる。 スマホは若者から高齢者まで幅広く使用するので、手間のかかるアプリよりはこのLINE から検索するところを充実させていただければと思う。
福島委員	環保協では、1 つに問題なっているのは、燃えるごみをいかに減らすかということ。 業者によってはごみを完全に乾燥させるという高価な機械があるらしいが、一般家庭にはなかなか手が出ない。それをもっと簡単にできるようなことを市として考えてもらうか、助成金を出してやってもらうか、何か考えてほしいというのが1 つ。 最近、資源回収やリサイクルの関係で家電関係を市で回収する以外に、独自に集めて、どこかへ転売しているという業者が大分増えてきて、広告等も入ってきている。これが悪質か良質かという判断は難しいが、うまく抑制する方法はないか。 その場合、市の方に連絡して、対処してもらう等方法を検討願いたい。
議長	リサイクルの方法についてはまたいろいろ検討する必要があると思うが、業者の回収の件については何かあるのか。
事務局	まれに市民の自宅に回収業者のチラシが入ることがあり、適法な業者なのかという問い合わせがある。 その場合は、回収業者を利用せず、山形市のホームページに載っている許可業者の中から選ぶよう申し上げている。山形市では実際にチラシの回収業者に直接訪問し、どういった形でやっているのか調査し、聞き取りと指導を行っている。
福島委員	回収業者は廃棄物を玄関まで取りに来るから良いが市の方は自分で搬入なので、そのことを考えてもらえば上手くいくのではないか。ご検討いただければと思う。
長瀬委員	今日話を聞いて、私たちごみ減量・もったいないねット山形という団体では、この清掃問題審議会の意向に沿った活動をしていたということが改めて分かった。 もう1 つ、ごみの水を切れば5 グラム 10 グラムくらいはすぐ減量できるのではないかと思う。そういうところにもう1 回ごみ減量・もったいないねット山形として力を入れていこうと思う。
鈴木（淳）委員	以前受け取った山形市の「くらしのガイド」にも、「ごみ・環境・上下水道」の項目がある。改めて繰り返し見ている。 私たち山形市消費者連合会もごみ減量・もったいないねット山形もいるが、繰り返し私たちに伝えていただきたい。 市内のスーパーの入口で混ぜてはいけない廃棄物をかごに入れて、分かるように展示していた。視覚で見て、自分では分かっているつもりでも改めて気づかされることがある。 これからも啓発を続けていただきたい。また私たちも努力して「ひと絞り」をしていきたいと思う。
山川委員	資料1 ページの下から6 行目、「市の中古備品や、イベントで市民から引き取った中古家具等を『山形市メルカリ Shops』に出品し、引き続きリユースに繋げる」について、この実績について市の中古備品、それぞれの市民から出たものの出品数、また

	実際の売り上げと収益についてお聞きしたい。 また、個人的なことだが私も「さんあ〜る®」を活用した。 花壇の植え替えをして土のごみが出たので検索したが、検索した結果「少量に限る」とあり、表記が具体的な感じではなかった。悩んでしまい、直接問い合わせればよかったがそこまではいかず、家にまだある。 検索したときに、具体的に何キロまで、何リットルの袋1つまで等、明確に表記があれば分かりやすくして良い。
事務局	メルカリ Shops の販売実績について、市の不要備品と、市民から引き取った家具等を出品しており、去年は大型の家具と小型の家具に分け、回収イベントを2回行った。 市の不要備品については、メルカリショップを開設した令和5年2月16日から今年の6月末まで300品を出品しており、そのうち売却数が130品。販売額は115万6000円となっている。 市民の方から引き取った品については、タンス、テーブル等大型家具43品を出品し、売却が34品、1つ300円での最低価格での販売としたので、販売額は1万200円。また、小型の家具、椅子、小さな収納ケース等、43品ほど出品し、売却が41品、販売額は1万2300円となっている。 2点目の埋め立てごみについては、土について、基本的に「少量」ということで、ご指摘の通りの表記としている。 量が多くなると、収集車の都合等あるためそうした表記にしているが、通常3袋程度なら回収している。 もう少しわかりやすい表記となるよう検討させていただきたい。
議長	今日も委員の皆様から非常にいろいろなご意見をいただいたので、ぜひ、事務局の方でご検討いただければと思う。 委員の皆様におかれましてはスムーズな進行にご協力いただき感謝申し上げます。

(7) その他は特になし。

以上